

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染予防期間における予防対策についてのお知らせ

レインボーブリッジ英語学院
2020年2月28日

当学院で、慎重に検討した結果、次の予防対策を直ちに有効とし、本日より2020年3月末までを予防対策期間とすることと決定しました。今回のお知らせにおける情報および手順は、すべてWHO（世界保健機関）のガイドラインに基づいています。本学院では、状況を引き続き注意深く見守り、必要に応じて今回の方針を更新していくつもりです。

- 授業に関しては、予定通りに継続します
 - 授業を行っている会場（場所）がなんらかの理由により利用不可にならない限りは、すべての授業を予定通りに行います。
 - 3月中の休学を希望する生徒は、電話、メッセージ、またはメールで学校に直接連絡した後、休学することもできます。
- コロナウイルス感染症と呼吸器感染症の初期兆候が見られた場合は、直ちにレインボーブリッジにご連絡ください。教師または生徒がコロナウイルスに感染した場合は、本学院は、すぐに全ての授業を停止します。

レインボーブリッジでは、すべての授業において、予防期間中は、以下の予防対策を実施します。

- 生徒は、通常の持ち物に加えて、予防期間中は、授業の際には、次の物を持ってきてください。
 - 清潔な個人用のハンドタオル
 - 擦り込み式アルコールジェル、またはスプレー式のアルコール消毒液など
- ウイルス感染が疑われる症状（軽度の症状も含む）が出た生徒と教師は、授業に参加しないでください。早期の受診をお勧めします。
 - 目に見える呼吸器疾患の症状が出た人は、教室から出て行ってください。
 - 症状の例は以下の通りです。

▪ 発熱	▪ うずき及	▪ 喉の痛み
▪ 倦怠感	▪ び痛み	▪ 下痢
▪ 乾性咳	▪ 鼻詰まり	
▪ くしゃみ	▪ 鼻水	
- 手指衛生を実践します
 - 各レッスンの開始及び終了時に、教師は、全生徒が手洗いを確実に行うよう指導します。
 - これはレッスンの一環とし、英語を使って実施します。
 - 生徒と教師（または保護者）は、WHOの手洗い手順に従って石鹸と水で手を洗います。

- 生徒と教師は、手洗い後は、各自、自分専用のタオルで手を拭きます。
- 授業中は、手を消毒するためにアルコール消毒液を使用します
 - 生徒は、出来る限り、自分専用の消毒液を持参の上、使用してください。
 - 自身による消毒液の準備が難しい場合は、当学院でも各授業用に準備しています。
 - 頻繁に手を洗うことをお勧めします。
 - 手洗いは、生徒の希望に応じて、または教師の指示において随時できることとします。
 - 手への擦り込みの手順も、WHO のガイドラインに従います。
 - アルコール消毒液等の手への擦り込みができない場合は、石鹸と水を使用します。
- 他の衛生対策も実施します
 - テーブルなどの表面を、各授業の前に消毒します。
 - 生徒がくしゃみや咳をする場合は、肘を曲げて口と鼻を覆ってください。この方法については、教師が実演指導します。
 - 当学院への通学時は、（手袋を着用し、肩や肘でドアを開けるなど）可能な限り一般的に他人が触れる接触面には、手で触れないようお願いします。
- 社会的距離を保ってください
 - 可能な限り、自分と他の人との間に少なくとも 1 メートルの距離を保ってください。
- 目、鼻、口に触れないようにしてください
 - 保護者の方は、お子様に目、鼻、口に触れないように指導してください。
 - 生徒が目、鼻、口及びその周辺にかゆみを訴えた場合、ティッシュを使って掻いてあげ、そのティッシュは、すぐにゴミ箱に捨ててください。
- マスクについて
 - マスクを着用する方が快適と思う場合は、生徒及び教師は、マスクを着用してもかまいません。WHO では次のように言っています。
 - 「咳などの呼吸器症状のない人は、医療用マスクを着用する必要はありません。WHO では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の症状がある人や、咳や発熱などの症状がある人を看病する人については、マスクの使用を推奨しています。マスクの使用は、医療従事者や（自宅や医療施設等で）看病をしている人にとって、非常に重要です。」
 - 「WHO は、貴重な資源の不必要な浪費とマスクの誤用を避けるため、医療用マスクの合理的な使用を推奨しています。呼吸器症状（咳やくしゃみ）がある場合、軽度の症状を伴い新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が疑われる場合、または感染が疑われる人の看病をしている場合にのみ、マスクを使用してください。」